

2021年度 鉄道会社の社会的責任と使命である「安全で安心な鉄道輸送」の構築に向け、
申1号 安全第一の企業風土を創り出す緊急申し入れ 第2回交渉④

【運輸関係】④

4. 「乗降終了合図を受けずにドアを閉扉した事象」が多発している原因及び背後要因を明らかにすること。また、これまでと多発している事象を受けての教育内容を明らかにすること。

(事象の詳細)

2020年10月～2021年7月にかけて、乗降終了合図指定駅での「合図を受けずにドアを閉扉した事象」が6件発生している。

● 多発している事象について

「割り込み型エラー」で起きている事象がほとんど。乗降確認できないのにもかかわらずドアを閉めていることは問題ではないか

(会社)本質は知っているが行動が結びついていない。

乗降終了の意味合いをしっかりと理解していれば閉扉する前に気づけたのでは(会社)考えごとをしていたこともあるが、(合図器の)建植位置は把握している。人それぞれ捉え方が違うので理解される教育が必要と考える。

内カーブの駅で「乗降確認できない状況でドア閉扉」を行っていることが散見されている

普段的な状況で行っていることが今回の背後要因になっているのでは(会社)お客さまに迷惑をかけていないということに甘えがあるのかもしれない。

● 基本動作の重要性について

基本動作を理解させ継続させていくことが大事では

(会社)本質の教育をしっかりと行っていくことが必要

議論を通じて社員教育に関して様々な課題があることが判明！

労使での意見交換や現地・現状確認を通じて
安全が守られる職場を形成していくことが必要だ！